

<毎月第2土曜日は400年の歴史をたどる東海道ウォーク>

## 平成19年度東海道ウォークガイドの会予定表

「六郷の渡し」から「箱根旧街道」へとつづく神奈川の東海道、九つの宿場を中心に史跡や先人の思いが数多く残された道をガイドとともにたずねます。

歴史的興味と健康の保持、その両方が満足できる、いずれも10km程度の楽しいウォークです。

特に本年は当会発足5周年の記念ウォークとして今までにない企画も組込んでいます。

開催日	コース (宿場)	集合場所	主な経路	解散場所
4月14日(土)	5周年記念 バス&ウォーク 箱根西坂三島宿	横浜駅西口 ヨドバシカメラ前 7:30	箱根峠～甲石～山中城址～錦田一里塚～ 三島大社	横浜駅西口
5月12日(土)	5周年記念 ウォーク 江戸下町散策	JR東京駅 丸の内北口 9:30	常盤橋～日本橋～水天宮～新大橋～芭蕉庵跡～ 富塚八幡宮～深川不動	地下鉄東西 線 門前仲町駅
6月9日(土)	品川宿	JR・京急 品川駅	品川宿本陣跡～品川神社～東海寺～品川寺～ 鈴が森刑場跡～磐井神社	京急 大森海岸駅
7月14日(土)	川崎宿	JR 川崎駅	稲毛神社～六郷の渡し～田中本陣～芭蕉句碑 ～市場一里塚～鶴見神社～生麦事件碑	京急 生麦駅
8月10日(金)	《道の日記念ウォークとシンポジウム～箱根宿～》 別途お知らせします			
9月8日(土)	神奈川宿	京急 神奈川新町 駅	長延寺跡～慶運寺～幸ヶ谷公園～本覚寺～ 台町～浅間神社～橋樹神社	相鉄 天王町駅
10月13日(土)	保土ヶ谷宿	相鉄 天王町駅	帷子橋跡～神明社～金沢横丁～軽部本陣跡 ～権太坂～境木地蔵～品濃一里塚	JR 東戸塚駅
11月10日(土)	戸塚宿	JR 東戸塚駅	王子神社～柏尾大山道～吉田大橋 ～清源院～沢辺本陣跡～富塚八幡宮	JR 戸塚駅
12月8日(土)	藤沢宿	JR 藤沢駅	庚申堂～遊行寺～永勝寺～義経首洗池 ～白旗神社～引地川～四ッ谷不動	JR 辻堂駅
1月12日(土)	平塚宿	JR 平塚駅	平塚八幡～お菊塚～江戸方見付跡 平塚の碑～上方見付～大磯化粧坂	JR 大磯駅
2月9日(土)	大磯宿	JR 大磯駅	延台寺～地福寺～照ヶ崎海岸～鷗立庵 ～島崎藤村旧邸～滄浪閣～六所神社	JR 二宮駅
3月8日(土)	小田原宿	JR 国府津駅	真楽寺～親木橋～酒匂の渡し跡 山王神社～北条稻荷～松原神社	JR 小田原駅

(注) 集合場所・経路等については都合により変更することがあります。各月の会報「かながわ歩け」もしくは「東海道ウォークガイドの会」のチラシでお確かめ下さい。

- ◆ 各コースの集合時間は、記念ウォークを除いて午前9時です。
- ◆ 原則、雨天決行。  
(当日現地の天候により距離・コースの変更もあります。)
- ◆ 弁当・飲料水・雨具は各自ご持参下さい。

- ☆ 参加費 500円（保険料・資料代）中・高校生 250円 小学生以下無料（大人の同伴要）
- ☆ 予約申込 マップ・資料など準備の都合もありますので、出来るだけ予約をお願いします。  
（当日の参加も可能ですが、資料が準備できないこともあります。）
- ☆ 予約方法 参加月日・氏名・住所・電話番号を明記の上、下記の方法でお申し込下さい。
  - 1) 葉書の場合 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2  
かながわ県民活動サポートセンター内レターケースNo. 128  
「神奈川東海道ウォークガイドの会」宛て
  - 2) FAXの場合 045-785-4668 （村田秀雄）宛て
  - 3) Eメールの場合 [kf1853@qk2.so-net.ne.jp](mailto:kf1853@qk2.so-net.ne.jp) （舟津紘一）宛て

### 19年「歴史と文化を訪ねるシリーズ」のご案内

年3回のウォークガイド「歴史と文化を訪ねるシリーズ」は、いずれも5k、2時間程度のゆったりとした行程と昼食をセットにした定員制のコースで、大変ご好評をいただいております。

19年は、1月16日（火）に新春の品川宿「東海七福神めぐり」を予定し、この他にも5月、9月には皆様のご期待にお応えできるコースを企画中です。 ご家族、ご友人お誘い合わせてご一緒にどうぞ。

詳細な内容は、別途、当会の「チラシ」でご案内します。

### 神奈川東海道ウォーク・ボランティアガイド養成講座のご案内

この養成講座の始まりは、平成13年度に東海道ルネッサンス記念事業の一つとして開催されたものです。この講座は、その後も引き続いて開催され、現在ではこの講座を終了した多くの仲間が、「神奈川東海道ウォークガイドの会」を結成して、東海道の歴史や文化、町づくりや道づくりを語り伝えることを目指して、毎月活動を行っております。

平成19年においても、1月、5月、10月の3回、講座の開催を予定しています。

東海道の歴史や文化に興味のある方、ボランティア活動によってより多くの人々にそれを伝えてみたいと思われる方多数のご参加をお待ちしております。

募集の詳細と講座の内容は、開催月の前月もしくは前々月の会報「かながわ歩け」と「東海道ウォークガイドの会」のチラシでお知らせします。

.....

神奈川東海道ウォークガイドの会

(NPO法人神奈川県歩け歩け協会加盟団体)

## ………… 東海道ウォークガイドコース案内 …………

「ヤジさん・キタさん五十三次の旅」や「参勤交替の大名行列」で知られる旧東海道は、関ヶ原を制した徳川家康によって作られました。それから400年余り、現在でも川崎から箱根に至る神奈川県内の東海道には所々にかつての面影を残す場所や歴史的な史跡、更には数々の伝説・物語・秘話などが残っています。平成19年度は、4、5月に発足5周年を記念して「箱根西坂から三島宿」と「江戸下町散策」を織込みました。6月からは品川宿から六郷川を越え、川崎宿から順を追って京へ上る街道を箱根宿までガイドとともに辿ります。

### 4月14日（土） 5周年記念 箱根西坂と伊豆一之宮三島大社の三島宿

箱根峠を過ぎると、全体的には見晴らしの良いゆるやかな傾斜がつづきます。途中には、小田原北条氏が秀吉の来襲に備えて築城した山中城跡や、秀吉が兜を脱いで休憩した兜石などがあります。下り終えたところは、富士の雪解け水が湧き出るといふ三島宿、伊豆一之宮三島大社を訪ねます。定員制で往復はバスを利用します。

### 5月12日（土） 5周年記念 江戸下町の散策

日本橋から人形町、深川周辺は現在でも江戸下町の情緒が残っています。水天宮から甘酒横丁、広重の名所百景にも描かれた隅田川と新大橋、芭蕉庵跡、紀伊国屋文左衛門の墓、深川不動などみどころも一杯です。ゆっくりとご案内します。

### 6月9日（土） 旅の送り迎えの拠点 品川宿

品川宿は日本橋を出て最初の宿場、海を目の前にして、送迎の人で大いににぎわった所です。江戸に入る大名行列はここで休憩して身支度を整えました。品川駅から品川宿内の本陣跡などをたどり、沢庵和尚の東海寺、八百屋お七などが処刑された鈴が森刑場跡を経て、磐井神社までを歩きます。

### 7月14日（土） 六郷の渡しから生麦事件跡へ 川崎宿

江戸から出て最初の大きな川は六郷川でした。ここでは、川会所や川高札があつて船を利用した船渡しが行われていました。新六郷橋際で、かつての「六郷の渡し」に想いをはせ、田中本陣跡や京方見付など川崎宿内を経て、幕末を象徴する生麦事件の碑までをガイドしながら歩きます。

### 8月10日（金） 道の日記念ウォークとシンポジウム ～箱根宿～

内容は別途お知らせします。

### 9月8日（土） 浦島などの伝説と開国にゆれた神奈川宿

神奈川宿は浦島太郎などにまつわる伝説が残り、又、ペルーの黒船来航以降、横浜開港までの間、各国の領事館などが置かれた所です。京急神奈川新町駅付近のオランダ領事館（長延寺）跡を出発点に、これらの史跡をガイドしながら台町を経て、保土ヶ谷宿の入口まで歩きます。

### 10月13日（土） 権太坂を越えれば武蔵・相模の国境 保土ヶ谷宿

美しい海岸線と分れて、保土ヶ谷宿から戸塚宿へは行き倒れも出るほどの難所「権太坂越え」が待っていました。相鉄天王町駅付近の帷子橋跡から、軽部本陣などが残る保土ヶ谷宿内を経て、権太坂、境木地蔵、品濃一里塚までガイドとともに歩きます。

### 11月10日（土） ヤジさんも泊った最初の宿泊地 戸塚宿

江戸から約10里（41k）、5番目の宿場、戸塚宿は品濃坂と大坂の間にあつて旅籠の数も小田原に次ぎ、宿泊地としてにぎわいました。JR東戸塚駅を出発点に、広重の絵に残る鎌倉道との分岐点「吉田大橋」から沢辺本陣跡や富塚八幡宮など宿内の旧蹟をガイドしながらたどります。

### 12月8日（土） 遊行寺と義経伝説のさと 藤沢宿

遊行寺の門前町藤沢宿は、大山道、江の島道の分岐点でもあつたので大山参りや江の島詣での旅人でにぎわいました。又、義経伝説などの言い伝えとその旧蹟も多く残っています。JR藤沢駅から遊行寺、江の島道との分岐点大鋸橋、悲しい飯盛女達の墓の残る永勝寺、白旗神社など義経史跡を経て、四ッ谷不動から辻堂駅までを歩きます。

### 1月12日（土） 馬入川と高麗山に挟まれた平塚宿

船渡しの馬入川を過ぎて平塚宿内に入ると、次第に大磯寄りの高麗山が大きくなってきます。かつて、山越えと間違えた旅人が、平塚宿で泊ってしまったという話も残っています。地名発祥のもとともいわれる平塚など宿内の旧蹟をたどり上方見付から大磯の化粧坂までを歩きます。

### 2月9日（土） 曾我伝説と藤村など明治の旧蹟が残る 大磯宿

街道筋に美しい松並木が残る大磯宿は、鎌倉時代にもにぎわった所です。曾我十郎の恋人虎御前の伝説も数多く残っています。又、明治の頃は、著名人の別荘地として発展しました。虎御前の延台寺、島崎藤村の旧邸やゆかりの地福寺、更には鳴立庵を経て、相模の国の総社六所神社に立ち寄り二宮駅まで歩きます。

### 3月8日（土） 徒歩渡しの酒匂川とにぎわう城下町 小田原宿

箱根連山を眺望しながら人足の肩に担がれて渡る酒匂川の川越えは、旅人が江戸を立って初めて経験するものでした。国府津から酒匂川へ、当時の情景を思い浮かべて川を渡ります。又、小田原に入ってから、北条氏ゆかりの北条稲荷、かまぼこ通り、総鎮守松原神社などをガイドしながら小田原城址まで歩きます。